

平成 31 年度

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科
博士課程後期課程

学 生 募 集 要 項
(2019 年 4 月入学)

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科について

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科は、神戸大学がフラッグシップ研究と位置付ける重点四分野（バイオプロダクション、先端膜工学、先端IT、先端医療学）と、事業創造に焦点を当てたアントレプレナーシップ分野とを融合させた教育研究を行う新タイプの研究科です。

本研究科では、自然科学系分野における高度の先端科学技術に関する教育と、高い実績を誇る社会科学教育とを有機的に連携させた、文理融合によるカリキュラムを編成しています。それを通じて、学際領域における先端科学技術の研究開発能力とともに、研究成果の事業化プロセスをデザインできるアントレプレナーシップを兼ね備えた、理系人材を養成することにより、新たにベンチャー企業を立ち上げる「独立企業家」や、既存企業や研究機関等における「企業内企業家」等のイノベーションを創出できる人材、又は企業家精神（アントレプレナーシップ）を兼ね備えつつも、主に高度に専門性の高い科学技術分野の研究を行う研究者・教育者、あるいは文理融合・分野融合の視点から科学技術イノベーションに関する研究教育を実践できる研究者・教育者となる人材の輩出を目指しています。

この目標を実現するために、科学技術ブレークスルーに不可欠な専門能力や研究開発力を養う「先端研究開発科目」、科学技術ブレークスルーのテーマをデザインする能力を養う「科学技術イノベーション科目」及び研究開発能力や戦略的企業家活動の実践能力を養う「科学技術アントレプレナーシップ科目」を開講します。さらに、これらに博士論文研究の指導を組み合わせることによって、グローバルに活躍できる科学技術アントレプレナーを養成します。

なお、一定の単位を修得し、博士論文審査に合格した学生は、博士（科学技術イノベーション）の学位を取得することができます。

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科におけるアドミッション・ポリシー

科学技術イノベーション研究科博士課程後期課程では、多様な分野で科学技術イノベーションを達成するために、イノベーション・ストラテジーを構築することができる人材の輩出を目指す。この人材輩出の目標を踏まえ、次のいずれかの資質を備えた学生を求める。

- ・ 工学、情報学、農学、理学、医療、薬学等の専門分野における博士課程前期課程修了相当の研究能力に加えて多様なバックグラウンドを持ったアントレプレナーシップを志向する社会人学生
- ・ 本学や他大学の理科系の研究科の博士課程前期課程を修了し、工学、情報学、農学、理学、医療、薬学のいずれかの専門分野における研究能力を有し、科学技術イノベーションの達成につながる研究に強い意欲を持つ学生

科学技術イノベーション研究科 学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科は、後期課程において、学際領域における先端科学技術の研究開発能力とともに、知的財産化、生産技術開発、市場開拓までの学術的研究成果の事業化移行プロセスをデザインするアントレプレナーシップを兼ね備えた理系人材を養成することにより、新たにベン

チャー企業を立ち上げる「独立企業家」や、既存企業や研究機関等における「企業内企業家」等の自らイノベーションを創出できる人材（科学技術アントレプレナー）及び科学技術イノベーションに関する研究教育を実践できる研究者・教育者となる人材を輩出することを目指している。この目標達成に向け、本研究科では、教育課程を通じて授与する学位に関して、国際的に卓越した教育を保証するため、以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

なお、学生が身に付けるべき共通の能力としては、「人間性」、「国際性」、「専門性」、「創造性」を想定している。

学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

神戸大学のディプロマ・ポリシーに基づき、科学技術イノベーション研究科は以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・ 本研究科に3年以上在学し、本研究科規則に定める修了に必要な単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、短縮して修了することができる。
- ・ 神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに本研究科学生が身に付けるべき能力を次のとおりとする。

学位：博士（科学技術イノベーション）

「人間性」

- ・ 豊かな教養を備え、様々な立場の人々と協働して課題を解決する力。
- ・ 科学技術が社会へ及ぼす影響について理解し、高い倫理性に基づき適切に行動できる力。

「国際性」

- ・ グローバルな視野に立って研究に取り組み、その成果を論理的かつ明瞭な言葉によって発信することができる力。

「専門性」

- ・ 先端科学技術の各専門分野（バイオプロダクション、先端膜工学、先端 IT 及び先端医療学）の知識を融合しつつ多面的に探求することで、独創的な科学技術ブレークスルーにつなげることができる専門的な力。

「創造性」

- ・ 理系領域における高度な専門性に基づき、科学技術ブレークスルーとなる研究成果をあげて、それを基に経済的・社会的な価値につながる新しい製品やサービスのコンセプト（イノベーション・アイデア）をデザインする、逆にイノベーション・アイデアにつながるような科学技術ブレークスルーのテーマをデザインすることができる力。
- ・ イノベーション・アイデアを具体的なイノベーションにつなげて、独立起業や新規事業を立ち上げるなど、実践可能な質の高いイノベーション・ストラテジー（研究開発と事業化にむけた戦略）を構築できる力。

修了後に想定される進路等について

修了者の主な活躍先等としては、次の3つが考えられます。1つ目は、自らが専門とする先端科学技術を基にしてベンチャー企業を立ち上げる独立企業家です。2つ目は、企業や研究機関等においてイノベーションの創出を目指す企業内企業家です。後者の具体的な活躍先として主に考えられるのは、バイオ燃料やバイオ素材等の研究開発を行うバイオ関連企業、革新膜や膜プロセス等の研究開発を行う化学企業や環境関連企業、情報通信デバイスやエネルギー変換のための電子材料等の研究開発を行う化学企業や、これらの材料を製品応用するIT関連企業、分子標的薬やバイオ医薬品、再生医療等製品の研究開発を行う製薬企業等です。最後に3つ目は、大学などの研究教育機関等において、企業家精神（アントレプレナーシップ）を兼ね備えつつも、主に高度に専門性の高い科学技術分野の研究を行う研究者・教育者、あるいは科学技術分野の理系研究とアントレプレナーシップ領域の文系研究の両者を融合し、文理融合・分野融合の視点から科学技術イノベーションに関する研究教育を行う研究者・教育者です。

科学技術イノベーション研究科博士課程後期課程の学生募集に関する問い合わせ先

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科教務学生係

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

電話：(078) 803-5474

E-mail: stin-kyomu@office.kobe-u.ac.jp

科学技術イノベーション研究科ウェブページ：<http://www.stin.kobe-u.ac.jp/>

神戸大学ウェブページ：<http://www.kobe-u.ac.jp/>

目 次

科学技術イノベーション研究科博士課程後期課程学生募集要項

1. 募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願期間	2
4. 出願手続	2
5. 出願書類等提出先	4
6. 選考方法	4
7. 口頭試問の期日及び場所	5
8. 合格者発表	5
9. 入学手続	6
10. 注意事項	6
11. 個人情報の取り扱いについて	6
12. 麻しん、風しんのワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する 書類の提出について	7
13. その他	8
出願資格の審査について	9
神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 大学院入学試験検定料の 海外からの送金方法	11
別表 教育研究分野及び指導教員一覧	12
社会人学生のための教育方法の特例について	13

◎ 添付書類（出願に必要な本研究科所定の用紙一式）

- 入学願書（様式第1号）
- 履歴書（様式第2号）
- 受験票（様式第3号）
- 検定料郵便振替払込受付証明書貼付票（様式第4号）
- 出願時の検定料の納付について（様式第5号）
- 宛名シール（様式第6号）
- 入学試験関係書類送付用封筒（様式第7号）
- 修士論文の概要及び研究経過報告書表紙（様式第8号）
- 研究計画書（様式第9号）
- 入学試験出願資格認定申請書（様式第10号）
- 研究・職務歴証明書（様式第11号）
- 研究・職務業績書表紙（様式第12号）

平成 31 年度 4 月入学

科学技術イノベーション研究科博士課程後期課程学生募集要項

1. 募集人員

専攻	募集人員	備考
科学技術イノベーション専攻	10 人	募集人員には進学者、外国人留学生及び社会人を含みます。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成 31 年 3 月 31 日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 31 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 31 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 31 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 31 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
 - ア 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - イ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 31 年 4 月 1 日までに 24 歳に達するもの

(注) 上記 (7) 又は (8) により出願を希望する者については、出願の前に個別の出願資格審査を行いますので、9～10 ページの「出願資格の審査について」を参照して必要な申請をしてください。

3. 出願期間

平成 30 年 7 月 26 日（木）から 8 月 1 日（水）までです。（土・日を除く）

受付時間は、午前 9 時から午後 4 時までです。（ただし、正午から午後 1 時までを除きます。）

郵送による場合は、8 月 1 日（水）の消印有効とします。（なお、平成 30 年 8 月 2 日（木）までに必着のこと。）

4. 出願手続

志願者は、次の書類等を取りそろえて出願してください。

出願書類	提出を要する 志願者	備 考
入学願書 (様式第 1 号)	全志願者	本研究科所定の用紙。 写真を所定欄に全面糊付けで貼ること。 【志望指導教員の記入について】 志望する指導教員を記入してください。記入の際には、12 ページの「別表 教育研究分野及び指導教員一覧」を参照してください。
履歴書 (様式第 2 号)	全志願者	本研究科所定の用紙。
受験票 (様式第 3 号)	全志願者	本研究科所定の用紙。 写真を所定欄に全面糊付けで貼ること。
写真	全志願者	2 枚を「入学願書」及び「受験票」の所定欄に全面糊付けで貼ること。写真は、縦 4.0cm×横 3.0cm、上半身・脱帽・正面・無背景で、3 ヶ月以内に撮影したもの。(カラーでも白黒でも可。デジタル写真の場合、写真専用紙を使用し、画質が適切であること。)
検定料郵便振替払込 受付証明書貼付票 (様式第 4 号)	全志願者	本研究科所定の用紙。 所定欄に「郵便振替払込受付証明書」(お客さま用)を貼ること。
検定料 30,000 円	全志願者	最寄りの郵便局で添付の「出願時の検定料の納付について」 (様式第 5 号)の払込取扱票により納付し、振替払込受付証明書を「検定料郵便振替払込受付証明書貼付票」(様式第 4 号)の所定の位置に添付してください。(外国の金融機関から送金する場合は、11 ページの「大学院入学試験検定料の海外からの送金方法」を参照してください。) 日本国政府から現在奨学金を支給され、入学後も国費外国人留学生である者は不要です。ただし、在籍大学(神戸大学以外の場合)の発行する「国費外国人留学生証明書」を提出してください。
宛名シール (3 枚) (様式第 6 号)	全志願者	本研究科所定の用紙。 志願者に対し、口頭試問の時間割・場所等を、また、合格者に対し、合格通知書及び入学手続書類を送付するために使用します。
入学試験関係書類送 付用封筒 (様式第 7 号)	全志願者	本研究科所定の封筒に、志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し、郵便切手 372 円分を貼ってください。(受験票等送付用)

成績証明書（１）	全志願者	出身大学の学部長（学長）又は出身学校長等が作成したものの。 英語以外の外国語で作成された証明書等の書類については、日本政府又は外国政府の在外公館等の公的機関による翻訳証明を付した日本語訳を必ず添付してください。 （中国の大学における証明書の場合は次頁の注意事項参照）	
成績証明書（２）	出願資格 (1)(2)(3) (4)(5)により出願する者	出身大学院の研究科長又は学長が作成したものの。 英語以外の外国語で作成された証明書等の書類については、日本政府又は外国政府の在外公館等の公的機関による翻訳証明を付した日本語訳を必ず添付してください。 （中国の大学における証明書の場合は次頁の注意事項参照）	
修了証明書 又は 修了見込証明書	出願資格 (1)(2)(3) (4)(5)により出願する者	出身大学院の研究科長又は学長が発行した博士課程前期課程又は修士課程修了（見込）証明書。 修了証明書に取得学位の記載がない場合は、学位授与証明書又はそれに代わるものを併せて提出してください。 英語以外の外国語で作成された証明書等の書類については、日本政府又は外国政府の在外公館等の公的機関による翻訳証明を付した日本語訳を必ず添付してください。	
修士学位授与証明書 又は 修士学位授与見込証明書	中国の大学院の出身者	中国の大学院修了者は、出身大学院の研究科長（学長）が作成した修士学位授与証明書（出願時に修了見込の者は修士学位授与見込証明書）を提出してください。英語以外の外国語で書かれた証明書等には、英語訳又は日本語訳を添付してください。 （次頁の注意事項参照）	
修士論文等	修士論文（専門職学位論文） （写）	前期課程（修士課程・専門職学位課程）修了者	和文又は英文とする。修士論文（専門職学位論文）を課されていない大学院の修了者は、前期課程（修士課程・専門職学位課程）の自己の研究要旨をA4用紙10枚以上（原則としてワープロを使用し、1頁は40字×30行とします。）にまとめて提出してください。
	修士論文（専門職学位論文）の概要	前期課程（修士課程・専門職学位課程）修了者	和文2,000字程度のもの及び英文1,200語程度のもの各1部（A4判）を提出してください。和英両方をセットにし本研究科の所定の用紙（様式第8号）を表紙として提出してください。ただし、外国人の志願者は、英文のみとします。 修士論文（専門職学位論文）に代えて、研究要旨を提出する者も同様とします。
	研究経過報告書	前期課程（修士課程）修了見込の者	和文2,000字程度のもの及び英文1,200語程度のもの各1部（A4判）を提出してください。和英両方をセットにし本研究科の所定の用紙（様式第8号）を表紙として提出してください。ただし、外国人の志願者は、英文のみとします。
	参考資料	全志願者	上記以外の参考資料があれば、提出してください。
研究計画書 （様式第9号）	全志願者	本研究科所定の用紙。 募集要項添付の用紙を使用するか、下記のページよりWordテンプレート（長辺とじ両面印刷）をダウンロードして作成し	

		<p>てください。</p> <p>http://www.stin.kobe-u.ac.jp/jyukensei/31d.html</p>
住民票（写）等	日本に在留している外国人志願者のみ	日本に在留している外国人の志願者は、住民票の写し（提出日前 30 日以内に作成されたものに限る。）又はこれに代わる書類（「在留カード」のコピー（表裏両面をコピーしたもの））を提出してください。

（注）出願書類に関する注意事項

- 提出する書類は原則として、すべて原本とし、コピーは認めません。（「住民票（写）」に代わる「在留カード」のコピーを除く。）
- 出願書類の不備なものは受理しないので、記載事項に記入もれ、誤記のないよう十分注意してください。
- 虚偽の申告をした場合又は出願に際し出願資格が「見込」であった者が平成 31 年 3 月 31 日（日）までに資格を取得（修了・修得等）できなかった場合、入学許可を取り消します。
- 中国の大学及び大学院における証明書については、出願期間末日までに中国政府機関直轄の財団である『中国教育部学位与研究生教育发展中心（CDGDC）』から神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科教務学生係（登録コード：W600508）へ直接認証書（英文に限る。）が送付されるよう手続きをしてください。
出願者本人が CDGDC から受け取り、本学に提出した認証書は原則として無効です。
認証書が発行されない場合又は認証書が無効な場合は、入学許可を取り消すことがあります。
手続きの詳細については CDGDC のウェブページ (<http://www.cdgdc.edu.cn>) で確認してください。
- 入学願書に指導教員の記入がない場合、出願書類は受理されません。また、**志願者は指導教員予定者と密接な連絡をとり、研究計画書を作成してください。**
- 博士課程前期課程又は修士課程修了見込証明書を提出した者は、入学時に修了証明書を提出してください。修了証明書に取得学位の記載がない場合は、学位授与証明書又はこれに代わるものを併せて提出してください。

5. 出願書類等提出先

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科教務学生係
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1 - 1
電話 (078) 803-5474

出願手続を郵送により行う場合は、書留速達郵便とし、封筒の表に「科学技術イノベーション研究科博士課程後期課程入学願書在中」と朱書してください。

6. 選考方法

入学者の選考は、学力検査及び提出書類により総合的に判断します。

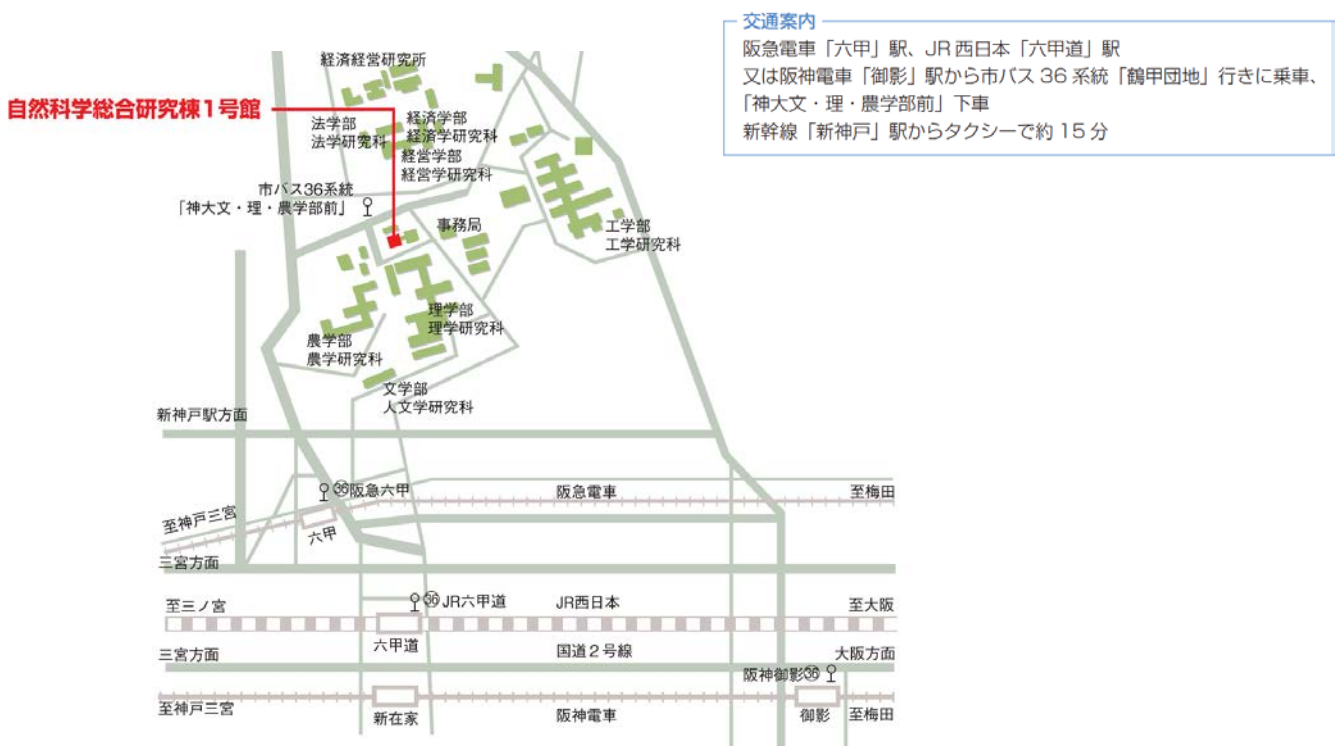
学力検査は、口頭試問によって、以下を中心として行います。

- (1) 修士論文又は研究経過報告書の内容
履修に必要な基礎学力を有しているかどうかを検査します。
- (2) 英語の能力（外国の大学を卒業した外国人の志願者については英語及び日本語）
研究に必要な語学力を有しているかどうかを検査します。
- (3) 研究計画書の内容
学位取得に見合う研究計画であるかどうかを審査します。

7. 口頭試問の期日及び場所

期 日	場 所	備 考
平成 30 年 8 月 26 日（日）	神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科（自然科学総合研究棟 1 号館内）	各志願者の口頭試問の時間、場所等は、後日、別途通知します。

【試験場】



8. 合格者発表

平成 30 年 8 月 30 日（木）午前 10 時（予定）

神戸大学自然科学総合研究棟 1 号館掲示板及び神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科ウェブページで発表します。（<http://www.stin.kobe-u.ac.jp/jyukensei/exam.html>）

また、合格者には合格通知を郵送します。なお、電話等による照会には一切応じません。

9. 入学手続

(1) 入学手続期間・入学手続書類等

入学手続期間は、平成 31 年 3 月中旬の予定です。詳細については、入学手続に必要な書類等と併せて平成 31 年 2 月下旬に通知（郵送）します。

(2) 納付金

区分		金額	摘要
入学料		282,000 円	入学料については、入学手続期間に納付してください。
授業料	半期分	半期分 267,900 円	前期分の授業料納付時期は、4 月となります。納付方法は、入学手続時に提出していただく「神戸大学授業料預金口座振替依頼書」に記載された口座からの引き落とし（口座振替）によって行います。 [在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。]
	年額	年額 535,800 円	

(注) 上記の金額は、平成 30 年度の例です。

10. 注意事項

- (1) 出願手続後の記載事項の変更は認めません。また、納付した検定料は出願書類等を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (2) 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 試験当日は、必ず受験票を携帯してください。
- (4) 受験のための宿舍の紹介はしません。
- (5) 身体に障害がある者で、受験の際に特別な配慮を必要とするものは、出願の 2 週間前までに申し出てください。

11. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する指針」等に基づき厳密に取扱います。
- (2) 入学試験に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜（出願処理、試験実施）、合格発表、入学手続業務及び今後の入学試験方法の検討資料作成のために利用します。
- (3) 出願にあたってお知らせいただいた個人情報は、入学者についてのみ入学後の学生支援関係（健康管理、授業料免除及び奨学金申請等）、修学指導等の教育目的及び授業料等に関する業務並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (4) 一部の業務を本学より委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託にあたっては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部について、守秘義務を課して提供します。

12. 麻しん、風しんのワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

神戸大学では「麻しん風しん登録制度」を定め、入学後のキャンパス内での麻しん、風しんの流行を防止するため、全ての新生に次の①、②、③のいずれかを提出していただいています。

- ① 麻しんと風しんのワクチン接種を、満1歳以降にそれぞれについて2回ずつ受けたことを証明する書類
 - ② 過去5年以内（平成26年4月以降）に麻しんと風しんのワクチン接種を、それぞれについて1回ずつ受けたことを証明する書類
 - ③ 過去5年以内（平成26年4月以降）に受けた麻しんと風しんの抗体検査の結果が、「麻しんと風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価（下表参照）を有していること」を証明する書類
- * ①、②のワクチンは、麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）等の混合ワクチンでもかまいません。
- * ①、②では、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていることが必要です。医療機関等から発行される証明書その他、平成20年4月1日から平成25年3月31日まで実施されたMRワクチンの第3期予防接種（中学校1年生に相当する年齢時）や第4期予防接種（高校3年生に相当する年齢時）に伴う「予防接種済証」でもかまいません。
- 第3期・第4期予防接種の「予防接種済証」は①の1回分として使用できます。**
- * **母子手帳**も、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていれば①、②の書類として使用できます。既往歴（かかったことがある旨の記載）のみで、診断根拠として確実な検査結果などが記載されていない場合は、③を提出するか、ワクチン接種を受けて①か②を提出してください。
- * ③では、下表の血中抗体価の測定方法と測定値が記載され、測定値が同表の判定基準を満たしていることが必要です。血液検査結果票そのものの提出でもかまいません。血中抗体価が不十分な場合には、必要なワクチン接種を受け、①か②を提出してください。
- * ①、②、③の書類の組み合わせ、例えば麻しんについては①、風しんについては③を提出してもかまいません。
- * 麻しん、風しんの血中抗体価が不十分にもかかわらず、病気や体質等やむを得ない事情によってワクチン接種を受けられない場合には、その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。

上記のいずれの書類も入学試験の合否判定に用いるものではありません。

提出期限：4月の新生健康診断実施日

提出先：保健管理センター

麻しんと風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価の測定方法と判定基準

区分	測定方法	判定基準	備考
麻しん	IgG-EIA法	8.0以上の陽性	3つの測定方法のうち、いずれかで陽性
	PA法	128倍以上の陽性	
	NT法	4倍以上の陽性	
風しん	HI法	32倍以上の陽性	2つの測定方法のうち、いずれかで陽性（HI法を推奨）
	IgG-EIA法	8.0以上の陽性	

血中抗体価の測定は、この表の方法によってください。

発症を防ぐのに十分な血中抗体価は、測定方法によって異なります。また、単に抗体陽性とされる値よりは高い値なので注意してください。

- (注) 医療機関を受診する際には、必要なワクチン接種や抗体検査を受けることができるか、予め確認してください。また、この学生募集要項を医師に提示するなどして必要な証明書を発行してもらってください。(特に、抗体検査を受ける場合は、測定方法と判定基準を確認していただってください。)

この感染予防措置に関する問い合わせは

神戸大学保健管理センター TEL 078-803-5245

神戸大学学務部学生支援課 TEL 078-803-5219

13. その他

(1) 入学料免除

次のいずれかに該当し入学料の納付が困難な場合は、本人の申請に基づいて選考の上、入学料の全額又は半額を免除される制度があります。

- ① 入学前1年以内に、学資の負担者が死亡し、又は入学者本人若しくは学資の負担者が風水害等の災害を受けた場合
- ② 入学者本人が学業優秀で、かつ、経済的理由により入学料の納付が困難な場合

(2) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当し納付期限までに入学料の納付が困難な場合は、本人の申請に基づいて選考の上、入学料の全額又は半額が徴収猶予される制度があります。

- ① 入学前1年以内に、学資の負担者が死亡し、又は入学者本人若しくは学資の負担者が風水害等の災害を受けた場合
- ② 入学者本人が学業優秀で、かつ、経済的理由により入学料の納付が困難な場合

(3) 授業料免除

次のいずれかに該当し授業料の納付が困難な場合は、本人の申請に基づいて選考の上、授業料の全額又は半額を免除される制度があります。

- ① 入学前1年以内に、学資の負担者が死亡し、又は入学者本人若しくは学資の負担者が風水害等の災害を受けた場合
- ② 入学者本人が学業優秀で、かつ、経済的理由により授業料の納付が困難な場合

(4) 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構が行う奨学金のほか、各種団体等の奨学金制度があります。詳細については別途お知らせします。

出願資格の審査について

1. 出願資格

「2. 出願資格（7）又は（8）」に該当する者の認定審査は、次の提出書類の書類審査により総合的に行います。なお審査においては、研究業績だけでなく、事業経験、特許取得、学会発表等の業績についても積極的に評価します。

2. 出願資格審査

この出願資格により出願しようとする者は、出願に先立ち、本研究科の出願資格審査を受け、出願資格の認定を受けなければなりません。

申請手続	<p>受付期間：平成30年7月17日（火）まで。（土・日・祝日を除く） 受付時間：午前9時から午後4時まで。 （ただし、正午から午後1時までを除きます。）</p>
出願資格審査書類等提出先	<p>神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科教務学生係 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 電話（078）803-5474</p> <p>手続を郵送により行う場合は、必ず書留郵便とし、封筒の表に「科学技術イノベーション研究科博士課程後期課程入学試験出願資格審査申請書類在中」と朱書し、受付期間までの必着とします。</p>
提出書類	<p>① 入学試験出願資格認定申請書：本研究科所定の用紙（様式第10号） ② 履歴書：本研究科所定の用紙（様式第2号） ③ 出身大学の学部長又は学長の作成した卒業（見込）証明書 ④ 研究・職務歴証明書：研究・職務を行った教育・研究機関や会社等の所属長、又は代表者が作成したもの。なお、該当する教育・研究機関や会社等による証明ができない場合は本人からの申立書でこれに代えることができます。本研究科所定の用紙（様式第11号） ⑤ 研究・職務業績書：「修士の学位論文に相当する」論文の概要。該当する論文がない場合は、「出願資格を充足すると考える根拠」を記述してください。 A4判の用紙を使用して、和文2,000字程度及び英文1,200語程度で記述し、本研究科所定の用紙（様式第12号）を表紙としてつけてください。ただし、外国人の志願者は、英文のみとします。 ⑥ 研究・職務成果資料：研究業績の基礎となる論文の目録と別刷（複写可）を提出することとし、その他研究・職務業績を示す資料があれば添付してください。 なお、共同研究の場合は、担当した部分を明確にした資料を添付してください。 ⑤で「出願資格を充足すると考える根拠」を記述した場合は、その参考となる資料を提出してください。 ⑦ 返信用封筒：定形封筒に362円分の切手を貼付し、住所・氏名を明記したもの。</p> <p>（注）ただし、大学の医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する6年制の課程を修了した者は前記の①、②、③、⑦及び下記の研究計画書の提出が必要 研究計画書：本研究科所定の用紙（様式第9号） 募集要項添付の用紙を使用するか、下記のページより Word テンプレ</p>

	ート（長辺とじ両面印刷）をダウンロードして作成してください。 http://www.stin.kobe-u.ac.jp/jyukensei/31d.html
審査方法	書類審査により実施します。
出願資格審査の結果通知	平成 30 年 7 月 25 日（水）までに本人宛に通知します。

3. 出願手続

出願資格審査により出願資格の認定を受けた志願者は、本募集要項に基づき、出願手続を行ってください。

4. 出願資格審査申請書類の請求方法

〔郵送による請求〕

出願資格（7）又は（8）による申請であること及び在学研究科名及び学年等を明記し、封筒に「科学技術イノベーション研究科博士課程後期課程入学試験出願資格審査申請書類請求」と朱書し、郵便番号、住所、氏名を明記し 400 円分の切手を貼付した返信用封筒（角形 2 号、縦 33.2cm、横 24.0cm）を同封の上、神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科教務学生係に請求してください。

〔ウェブページからのダウンロード〕

提出書類の①、②、④、⑤を下記のページよりダウンロードしてください。

<http://www.stin.kobe-u.ac.jp/jyukensei/31d.html>

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科
大学院入学試験検定料の海外からの送金方法

入学試験検定料は、30,000 円です。

海外の金融機関から送金する場合は、必ず日本円で検定料 30,000 円を下記の金融機関に送金してください。

海外の金融機関で必要な送金手数料は振込人負担となります。送金手数料以外の手数料（円為替手数料等）は神戸大学が負担します。海外送金小切手は不可です。

海外送金依頼書のコピーを、入学願書に添付してください。

The entrance examination fee is 30,000 Japanese yen. When paying from overseas, please be sure to make the payment in Japanese yen basis and remit 30,000 yen as the examination fee to the designated bank account mentioned below.

The remittance fees will be borne by the applicant, while Kobe University covers any other commissions including lifting charges or handling fees. No overseas remittance checks will be accepted.

A photocopy of the remittance request form must be attached to your application for admission.

Bank name	Sumitomo Mitsui Banking Corporation
Bank code	0009
Swift Code	SMBCJPJT
Branch	Rokko
Branch Code	421
Account No.	4142727
Recipient	Kobe University

可能であれば以下の情報も入れて下さい。

In addition, please include the following information, if necessary.

送金目的： Entrance Examination Fee

Purpose of Remittance：Entrance Examination Fee

他の伝言： M80：Name （名前の前に M80 を入れて下さい。）

Message to Payee, if any： Please indicate “M80：Applicant’s full name”

* Please put “M80” before your name.

(注) 海外から送金する前に、必ず神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科教務学生係までメールでご連絡ください。

Please be sure to contact us at the below E-mail address, before paying from overseas.

Student Affairs Section Graduate School of Science, Technology and Innovation Kobe University E-mail: stin-kyomu@office.kobe-u.ac.jp

教育研究分野及び指導教員一覧

講座	教育研究分野	指導教員	研究内容のキーワード
バイオ・環境	バイオプロダクション	近藤 昭彦	代謝工学, 合成生物学, バイオプロセス工学, 生物化学工学, 応用微生物学, 生物機能科学
		蓮沼 誠久	代謝工学, メタボロミクス, トランスクリプトミクス, 分子生物学, 合成生物学, 発酵生理学, バイオプロセス工学
		西田 敬二	合成生物学, ゲノム編集技術, 合成進化学, グリーンバイオ, 細胞工学, 進化生物学
		石井 純	合成生物工学, 代謝工学, バイオセンサー, 進化学, 遺伝子発現・代謝経路制御, 創薬スクリーニング
		内田 和久	バイオ医薬品, バイオロジクス, バイオ生産プロセス, レギュラトリーサイエンス, バイオベンチャー
		吉田 健一	応用微生物学, ゲノム生物学, 代謝工学, 微生物生理, 遺伝子発現制御, 生理活性物質
		石川 周	応用微生物学, 分子生物学, ゲノム生物学
	先端膜工学	吉岡 朋久	膜分離工学, 移動操作, 計算科学, 化学工学, 分子シミュレーション, ナノ材料工学
		中川 敬三	ナノ材料工学, 膜分離工学, 触媒反応工学, エネルギー有効利用技術, 化学工学
		新谷 卓司	逆浸透 (RO) 膜技術, 膜分離工学, 膜分離プロセス工学, 高分子合成・物性, 自己組織化, ナノ構造化学
先端 I T	永田 真	集積回路設計工学, 環境電磁工学, 先端実装工学, ユビキタスシステム, ハードウェアセキュリティ	
	太田 能	情報通信工学, 通信プロトコル設計, 通信システム評価手法	
	川口 博	電子デバイス, 信号処理, VLSI, センシングシステム, 深層学習	
先端医療学	先端医療学	青井 貴之	iPS 細胞, 幹細胞生物学, 腫瘍学, 消化器病学, 規制科学
		白川 利朗	遺伝子治療, ワクチン開発, バイオロジクス, 感染症, 泌尿器科学
		島 扶美	医薬品理論設計, がん治療, 構造ベース創薬, 分子生物学, シグナル伝達, 構造生物学
		森 一郎	創薬化学, 計算化学, 生理活性物質デザイン, 構造ベース創薬, ケミカルバイオロジー, がん・感染症治療薬研究
アントレプレナーシップ	アントレプレナーシップ	忽那 憲治	経営学, ストラテジック・アントレプレナーシップ, アントレプレナーファイナンス
		島並 良	法学, 特許法, 著作権法, 不正競争法
		幸田 徹	バイオテクノロジー, 発酵プロセス, フレーバー探索, 機能性評価, 味覚特性評価
		岩堀 敏之	医学, 工学, 循環器疫学, 公衆衛生, 医工連携, 歯周病学, 電気機器学

◎社会人学生のための教育方法の特例について

近年、大学院における社会人技術者又は研究者の継続研修・再教育及び博士の学位取得の要望が高まっておりますが、通常の方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は博士後期課程に在学する3年間はその勤務を離れて修学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されがちです。

一方、大学院設置基準第14条では、「研究科の課程において教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されており、社会人等の修学に配慮がなされています。

科学技術イノベーション研究科博士課程後期課程では、これらの背景を踏まえ、同条に定める教育方法の特例を実施します。

その概要は次のとおりです。

1. 授業担当教員の合意を得て、授業を、また指導教員の合意を得て、研究指導の一部を夜間及び特定の時期に受講することができます。
2. 指導教員が、学位論文の作成が進展しており、企業等に研究に関する優れた施設や設備があり、それを用いた方が成果が上がると認める場合は、勤務する企業等においても研究することができます。